

堺旧港の再開発中止

4/17 毎日

業者撤退 市「見通し甘く経緯検証」

堺市は17日、堺区大浜北町の堺旧港に面した市有地1・2畝の開発事業を中止すると発表した。大阪市内の不動産会社が約21億円をかけ、イルカと触れ合えるプールを核とした複合施設を建設する計画だったが、業者が「採算が取れない」とし事業から撤退した。市は「業者の選定など、結果的に事業の見通しが甘かった。臨海部の活性化は市の責務で、今までの経緯を検証して施策を考えたい」としている。

【山口朋辰】

計画では、公募で選ばれた大阪市中央区の不動産会社「dhp都市開発」が、プールやレストラン、結婚式場を備えた鉄骨3階建て延べ約1万平方メートルの施設を建設。市が約8億円を負担して、親水デッキや連絡橋なども整備するとして、年35万人の来場者を見

込み、市は定期借地代として年5600万円を受け取り、今月にも工事を始め、来春のオープンを目指していた。市は昨年5月と12月に同社と工事前の協定を結んだものの、期限までに事業計画が提出されず、先月31日には事業辞退の申し入れが

生部長は「すぐに公募をかけてもうまくいかない可能性が高い。活用策をよく考えたい」と話した。

予定地は南海堺駅西側で、1983年から97年までに市が計100億円をかけ、用地買収を進めた。博物館やスポーツ施設の建設を目指し、約10年前から

民間企業に進出を打診しているものの実現せず、塩漬け状態になっている。

窪園伸一・市都市再